

## (2) 学生の取材ノート

2008年8月1日(金) 於名東文化小劇場

### 響け！名東のうた「わがまち名東」フェスティバル

取材日 : H. 20年8月1日(金)  
取材時間 : 12:30~3:30(3h)  
取材場所 : 名東文化小劇場  
天気 : 晴れ とても暑い  
取材者 : 辻由佳 恒川典子 山田真紀  
イベント : 響け！名東のうた「わがまち名東」フェスティバル  
主催者 : 名東区役所  
名東文化協会  
(財)名古屋市文化振興事業団  
<名東文化小劇場>  
協力 : 名東文小ボランティア  
年齢層 : 40~60歳代  
男女比 : 出演者2:8 来場者3:7  
人数 : 約250人(圧倒的に女性が多い! 出演者の知り合い・家族が多い!)  
子どもを見に来た保護者の方、区役所の方)  
出演団体 : 「豆の木」(合奏・うた)  
藤が丘コーラス(コーラス)  
名東福祉会館「ゆりかご会」(コーラス)  
譜々(コーラス)  
名東なでしこオカリナオーケストラ(オカリナ合奏)  
藤の花コーラス(コーラス)  
キンダーコール鳩笛の会(ア・カペラ コーラス)  
彩楓曾(箏曲)  
特別出演 : 松澤 恵美

#### 取材ノート 1(辻由佳)

各団体が「わがまち名東」と自由曲を演奏した。

主催者へのインタビュー A、杉浦さん

「今回の会は、昨年作られた『わがまち名東』をみなさんに知っていただきたいと思い、この歌を発信するために開かれました。第1回目ということで不安もありましたが、こんなにたくさんの人たちに参加していただけたとは思っていませんでしたので、とてもうれしかったです。いろんな演奏形態で『わがまち名東』を発信でき、本当によかったと思います。

普段の活動は、子供向けワークショップや舞台などを行っています。今後の目標は、名東区にある唯一の劇場として、多くの方に気軽に足を運べる場所にしていきたいです。」

## 参加者へのインタビュー

### ・豆の木 A、高木さん、石田さん

「1番の感想は、気持ちがよかったです。いつもは舞台作りなど裏方の仕事をしているのですが、今回初めて人前で歌いました。楽しさと緊張感を味わうことができ、また参加したいと思います。」

### ・藤が丘コーラス A、神田さん

「うまくいきました！！リズムの難しい曲ですが、歌詞もよく、名東区をアピールするにはピッタリの曲ですね。『わがまち名東』をもっと知ってもらうためには、歌う機会をもっと増やすことが大事だと思います。名東区の小学校で子どもたちが授業で歌ったらどうでしょうか。子どもたちが元気よく歌えばどんどん広まっていくような気がします！子どもが家で口ずさめば、おうちの方々も興味を示してくれると思います。そのようにして、この歌が広まっていってくれたらよいなと思います。」

### ・名東福祉会館「ゆりかご会」 A、清水さん

「この会を大変楽しみにしていました！メンバーのみんなもとてはりきっていました。この会には、この劇場でちらしをもらって、みんなに相談したら全員一致で『やりたい！』となりました。私たちは70代が中心で最高齢は87歳です。そんな私たちに歌はとても励みになります。普段は、ボランティアで老人介護施設のデイサービスなどで歌っています。みなさん体を動かしながら喜んでくれます。歌っていいもんです！」

### ・譜々 A、斉藤さん

「私たちは、4つのPTAのママさんコーラスの団体から希望者が集まりました。今回の会のために結成されたグループなんです。普段は少ない人数で歌っているのですが、こんなに大勢の人数で大きな劇場で歌えたことに感激しています。普段の練習は平日の昼間、子どもが学校に行っている間に行っています。『わがまち名東』がいろんな形で普及していくとうれしいです。」

### ・来場者

\* 「お友達が参加しているのを見に来ました。まちが歌を作り、このような活動をするのはすばらしいです。」

\* 「コーラスのお手本になる。生で聞くのはよいなと思う。」

\* 「知っている歌（童謡など）は口ずさめてよいです。元気がでて楽しくなります。『わがまち名東』も口ずさめることのできる曲だと思います。」

## 取材者の考察

みなさんの終わった後の笑顔がとても素敵でした。参加された方全員がボランティアです。ほとんどのみなさんが自主的に応募し、練習を重ねてこられました。やり終えた後の充実感に満ち溢れた顔が、ボランティアの醍醐味であり、『わがまち名東』を発信していきたいというこの会の目的が達成された瞬間だと思いました。

歌は老若男女問わず伝わるので、名東区を知ってもらうにはとてもよい方法だと思いますし、まちのシンボルになると思います。どんなによい歌でも知る機会がないともったいないので、こういう機会がどんどん増えていけば活性化されると思います。

もう少し参加者のみなさんの生の声を聞くことができたならもっとよかったと思います。せっかく全員が同じ『わがまち名東』を演奏するのだから、この曲の感想や意気込みを一言述べてもらってから演奏を始めたら、より会場全体が盛り上がったと思います。

初めての取材でしたが、多くの方と接することができ、これからの「チーム名東」の活動が楽しみになってきました。

## 取材ノート2 (恒川典子)

主催者インタビュー A. 杉浦さん

Q. どのような趣旨でこのイベントを行いましたか？

A. まだまだ区民の皆さんに知られていない、「わがまち名東」という歌を皆さんに知ってもらいたい！という目的で、クラシックコンサートもできる名東文化小劇場でイベントをしたいと思い、このイベントを始めました。

Q. 今日はうまくいったと思われませんか？

A. このイベントは、第一回目です。そのため、至らない点などたくさんありましたがボランティアの方々、出演者の方々の協力のおかげで無事に進みました。また、皆さんが楽しそうに歌ってみえる姿をみて、このイベントをして良かったという気持ちになりました。このイベントは成功だと思います。

Q. 今後の目標をお願いします！

A. 区内の様々なイベントなどで「わがまち名東」を流し、今回参加してくださった方々だけでなく、もっとたくさんの区民の皆さんに、この歌を広めていきたいと思っています。

## 出演後インタビュー

・名東なでしこオカリナオーケストラ・

Q. 今回「わがまち名東」を演奏されて、いかがでしたか？

A. テンポがいいし、楽しい曲だね。この歌詞の「温もり伝わる 名東」というように、町の新しい所に温もりを与えたいね。是非、メイトーの日のイベント会場で、この曲を常に流してほしいなと思ったよ。(足立さん)

・藤の花コーラス・

Q. このグループはどのようにして結成されたのですか？

A. 私たち、この近くの藤森中のOGなんです。歌が好きでこのグループを結成しました。最初、メンバーは5名しかいなかったんですけど、徐々に集まっています。今回は、親子3代で参加しているメンバーもいます

Q. (親子の方に) 今回出てみていかがでしたか？

A. (子ども) おもしろかった！！

(保護者) 子どもと歌うと心強いんですよ。

Q . このイベントは何で知りましたか？

A . 名東文化小劇場のちらしで知りました。あと、この歌は 2 月にあったコーラス交換会で知り、その後この会に出ることが決まってから本格的に練習し始めたんです。

Q . 今後、どのような活動をしたいとお考えですか？

A . 童謡のような、たくさんの人たちに親んでもらえる歌をボランティアとして老人ホームなどで歌ってみたいなと思っていますが、まだ未定です。

Q . 最後に一言どうぞ！

A . とにかく歌は良いですよ！！

・キンダーコール鳩笛の会・(主に小学生からなるグループ)

Q . (グループの先生に)

今回演奏された「わがまち名東」について、どう思われますか？

A . 良いと思いますよ。でも、歌詞が 3 番まであって覚えにくいですね。

あと、はずみぎみで楽しい曲ですよ。

Q . (子どもたちに)

今日の演奏どうだったかな？

A . 緊張したあ～でも、楽しかった！

全部難しかった！

Q . もし、来年もこのイベントがあったら出たいですか？

A . うん！是非でたい！！

・彩楓曾・

Q . 今回の感想をお聞かせください！

A . 「わがまち名東」は明るくて、前向きな曲ですね。この曲を琴で弾くのっていいですよ。今回は、本当にたくさんの方に聞いていただけてよかったなと思っていますよ。もし機会があれば、今度は私の生徒たちと供に出たいと思いましたよ。

作曲者：寺岡悦子さんにインタビュー

Q . 皆さんの演奏を聞いて、いかがでしたか？

A . 皆さん、5月に発表されたこの曲を1年2ヶ月で、それぞれ自分のものにしていらして、すばらしかったです。若い人からお年の方まで、いろいろな年代の人に楽しんでいただけて本当によかったです。

若い詩のイメージを盛り込んで、この曲をつくりました。「わがまち名東」という曲を、作りっぱなしでなく、みなさんそれぞれが曲を育ててくださって本当に作曲者冥利に尽きます。

取材者の考察

・感想：大変多くの方が音楽を楽しんでいて、こういう場所が町にあるっていいなあと感じました。出演された方々が、とても生き生きとして本当に取材していて私自身楽しかったです。

- ・よかったところ：さまざまな年齢の方が音楽を楽しめるということがよかったと思いました。
- ・改善点：男性の方や若い方が少なかったように感じました。そこで、男性や若い人が参加しやすい工夫があるといいなと思いました。もっと多くの人にこのイベントを知ってもらえる工夫があるといいなと思いました。



## 2008年8月8日(金)於名東区役所講堂

### 名東 生き物イキイキフェスタ～盛り上げよう！COP10～

- ・取材日 8月8日(金)
- ・取材時間 3時間(9:00～12:00)
- ・取材場所 名東区役所講堂
- ・天気 くもり
- ・取材者名 木下綾子、守永光希、辻由佳、山田真紀
- ・イベントの名称 「名東 生き物イキイキフェスタ～盛り上げよう！COP10～」
- ・主催者名 名東COP10フェスタ実行委員会
- ・参加者概要
  - \*約200人 \*幼稚園、学童、親子連れ \*男女比 2:8
- ・イベント内容  
名東自然倶楽部、めいきん生協、名東区保健委員会、名東環境事業所、愛知県ネイチャーゲーム協会、名東区総務課 土木事務所、東山動植物園、上下水道局名東営業所、名古屋市食品衛生協会名東支部の各ブースから工作、ペーパークラフト、ネイチャーゲームなどが提供された。

#### 取材ノート1(辻由佳)

##### 主催者へのインタビュー

###### ・どのような趣旨・目的か

『名東COPフェスタを盛り上げるため』

\*生物多様性などに係る名東区民への意識啓発の効果的促進(イベントによる直接的効果)

\*名東区などで活動する市民団体の今後のテーマ(生物多様性など)づくり

\*市民団体の活動テーマ(生物多様性など)として位置づけられることによる二次的な波及効果

###### ・今後の目標

『区民との協働まちづくり事業』

区民と区役所が協働で、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進め、区民が主体となる地域コミュニティを形成

##### 参加者へのインタビュー

###### A、60代女性(上下水道局のブースの方)

「昨今、自動車の増加などに伴った大気汚染により温暖化が叫ばれています。CO<sub>2</sub>が影響を与えていることは皆さんご存知です。しかし、NO<sub>2</sub>も同じように出ています。NO<sub>2</sub>はアレルギー性鼻炎やぜん息に影響を与えます。このぜん息の患者さん

は増えているのです。

目には見えないが、贅沢を味わうために自分たちの首を絞めているのです。便利な生活による環境破壊は必ず私たちに戻ってきます。そのため、このような場で、数値で見ることによって意識改革をしていきたいのです。

A、50代女性（お孫さんと）

「とても楽しみでした。地球環境のためにいろんな形で発信しようとしているのは素晴らしいこと。とくに子どもたちが多く参加しているので、これからの未来ある子どもたちに広めることができるのは良いと思います。」

A、学童さん（30代の引率の女性、子どもたち）

女性「楽しみながら学べるのは良いことです」

4年男児「遊ぶ系のブースが楽しかった。昆虫が大好き！この夏も蝉取りしたよ」

6年女児「コインを落とすゲームが楽しかった。前も参加したよ。環境が大変なことになってるのはわかる。私は、クーラーを切ろうと思う。」

A、30代女性（子連れ）

「ポスターを見て来ました。子どもに生き物について知ってもらいたいです。」

A、60代女性、40代女性（ネイチャーゲームのブースの方）

「私たちは、ネイチャーウォッチングという、自然の中を植物や昆虫を見ながら歩く活動を行っています。とてもよいコミュニケーションですよ。参加者は60代以上の方も多いのですが、彼らの好奇心はすごい！！探究心や発見を楽しむ心は、今の子どもたちには少なくなってきたんじゃないかな。お金を使わずにとってもよい経験ができます。ぜひ若い子たちに伝えてください。」

A、50代男性（『あいち自然ネット』の会長さん）

「愛知県の環境を守りつつ、いろんな情報を発信しています。今後もたくさんの方々に環境の大事さを知ってもらおうと同時に、『何かひとつできること』のきっかけ作りをしていきたい。日常生活の中で環境を意識することが大切なのです。こういう会場に来た方にも何か感じてもらいたいです。」

A、30代女性

「子どものダンスの発表会を見に来ました。（なければ来なかった。）こんなに大きな規模のものだとは思いませんでした。チラシにもっと具体的に書いてくれると来やすいかな。」

A、30代女性（子連れ）

「子どもの絵の表彰で来ました。初めてです。エコバック、マイバックは普段から使っています。子どもがエコバックをすすめるんです。なので家族全員エコバックを持つ

ています。環境デーなどに興味があります。」

#### A、30代女性（子連れ）

「去年もよかったので、新聞で見かけて来ました。子どもが楽しそう！身近でこのような親子が触れ合える機会があるとよいと思います。」

#### A、50代女性

「毎年参加しています。今年は人が多く、賑わっています。子どもたちはこれからなんだから、小さいうちから自然に触れられるのはよいと思う。とくに楽しみながらというのがよい。」

#### 取材者の考察

とても楽しかった。やはり、体験型のイベントは興味を感じやすいし、環境という漠然としたものを身近に感じる事ができてよいと思う。講義を一方的に受けるより、自分で興味を持ってそれを楽しんだ方が、ずっと心に残るだろう。実際に、このイベントでも子供たちの笑顔が印象的だった。

子どもたちは、ただ楽しいゲームをしたなぁという感想しか持たなかったかもしれない。でも、きっと心のどこかに残っているはずだと思う。これからの環境の影響を大きく受けていくのは子どもたちなのだ。その子どもたちが、笑顔で参加できるこのようなイベントは重要だ。親子やいろんな人とのふれあいの場にもなる。もっと増えてほしいと思う。ただ、もっとこのようなイベントが行われていることや、どんな内容なのかをアピールする必要があると思う。どんなによいイベントでも、知られなければ意味がない。大学生の私でもとっても楽しかったのだ。子どもたちだけではなく、いろんな年代の人に来てもらえるような宣伝をしてほしいと思う。

#### 取材ノート2（木下綾子）

##### イベントの内容

- ・オープニングセレモニー（子どもたちの絵の優秀作品の表彰，牧野原保育園児による「We Love 地球」の踊り）
- ・工作など（竹とんぼやエコキャンドルを作ろう！環境カルタ取りに挑戦しよう！）
- ・ペーパークラフト（紙を使って市バス又は地下鉄を作ってみよう！）
- ・絵画展示（子どもたちの描いた生き物の大切さ、つながりをテーマにした絵を展示します。）
- ・COP10って？（COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)をもっと知ろう！）
- ・ECO宣言（「マイバッグ宣言」の署名や、レジ袋に関するクイズを開催！参加者には記念品を進呈！）
- ・ハンドクラフト（牛乳パックを使ってサンバイザーをつくろう！）
- ・ネイチャーゲーム（わたしたちと、木や生きものとのつながりを楽しく体験できるゲームがいっぱい！）
- ・その他（食品衛生コーナー，名東区住んでいる生き物展示コーナーなど）



・プレゼント（スズムシプレゼント，名東区の花（ナデシコ）の苗プレゼント）

#### 主催者へのインタビュー

##### 目的

生物多様性などに係る名東区民への意識啓発の効果的促進

名東区などで活動する市民団体の今後のテーマづくり

市民団体の活動テーマとして位置づけられることによる二次的な波及効果

#### 参加者へのインタビュー

このイベントをどこで（何で）知りましたか？今日はなぜ参加されたのですか？

参加してみた感想をお願いします。

今後、どのような活動に参加してみたいですか？

という項目でインタビューを行いました。

小5 男子

小学2年生の妹が一生懸命描いた絵が最優秀賞に選ばれたので、表彰式と絵を見に来た。  
楽しかった。

小4 男子

保育園に通っている弟がステージで踊りをするので、見に来た。  
弟は元気よく一生懸命踊っていたし、イベントも楽しかった。

小4 男子・小3 女子

学童で、楽しそうだったから。

小4 男子

妹が絵の表彰をされるから。  
おもしろかった。

40代位 男性

子供が絵の表彰をされるから。

参加者が多くてにぎやか。

名東区はたくさんイベントがあるので、参加していきたいです。

50代位 女性

中村会長さんのお誘い。

初めて来たが、良いと思った。2才の孫（女の子）も楽しんでいます。

60代位 女性

役をやっていて、毎年来ているので。バスの中の広告も見ました。

昨年よりも出席がよい。 幼稚園年長のお孫さん（男の子）；楽しい。

ボランティアをやっているので、エコについていろいろ知りたい。

生協さん

毎年参加。

年々参加者が増加している。環境問題に関心のある人が増えたと感じる。一人一人のできることを考え、関心を持ってもらえると、地球にも良い。名東区として、良い取り組みだと思う。

ネイチャーゲーム協会さん

毎年参加。

人が多くてびっくりした。幼稚園，小学生の中で、（環境について）考えてくれた子がいて良かった。

地球温暖化防止活動，いだかの森での活動。

#### 取材者の考察

\*取材をした感想：初めは、どのように、誰に声をかけてよいのか分からず、自分も参加者のように表彰式を見たりしていました。勇気を持ってインタビューしてみると、みんな、こころよく答えてくださったので、たくさんインタビューすることができました。自分も感じたように、とても多くの人に参加していて、活気があると答えてくださった方が多かったです。環境問題に関心がある、ということも感じたし、このようなイベントに多くの人に参加していること自体が、すごく良いと思いました。また、少し緊張したけど、今回の取材のように、普段味わえないことを体験できて、すごく、自分の力になったと思います。

\*イベントの良かったところ：複数の団体がブースを設けていて、それぞれ、工夫されていたので、参加者が本当に楽しんでいました。同時進行で、ステージ発表があったのも、盛り上がり、良かったです。事前に、絵画募集をしたのも、イベントに関する興味を沸かせるので、すごく良かったと思います。多くの子どもたちが参加していたので、このように楽しみながら環境問題に触れることができ、関心を持ってもらえるようになっていたのがとても魅力でした。私も取材終了後、マイ箸を作らせていただいたり、福引を引かせていただいたりと、イベントに参加させてもらい、とても楽しかったです。

\*イベントの改善点：このようなすばらしい取り組みに、中高生も参加するともっと良いと思ったので、例えば、ブースの1つに、中高生のコーナーを設けたり、ステージで、中高生の発表タイムを設けたりすると良いと思います。

#### 取材ノート3(守永光希)

参加者インタビュー

(60代女性)

Q.今回はなぜ参加しましたか。

A.自分の孫にはなかなか会えないので子供とふれあいに来ました。こういう企画に子供をなかなか連れてこられない親も多いと思うけど良い企画なのでぜひ参加してほしい。人とのふれあいは心が豊かになるから区のイベントにはよく参加しています。

Q.イベントを良くするためのアドバイスをお願いします。

A.子供が出席するには親の意識が大切。メインは生き物なので、ただ展示するだけでなく説明する人が展示の側に常にいるようにすれば惹きつけられるのではないのでしょうか。

(5年生女子)

Q.今回はなぜ参加しましたか。

A.イベントのことを知って楽しみたいくて来た。

Q.参加した感想は。

A.生き物のことを考えながら楽しめて良かったです。

Q.どのコーナーが気に入りましたか。

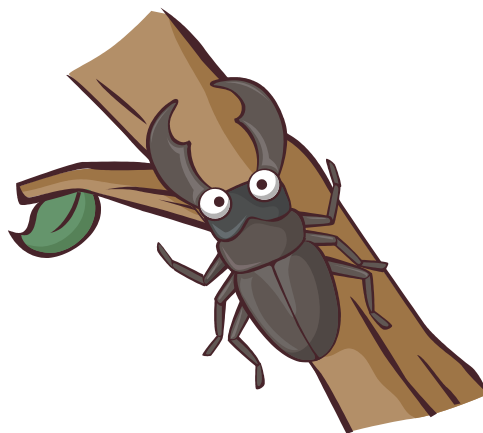
A.たけとんぼを自分で作れるコーナーが好きです。

Q.イベントと良くするためのアドバイスはありますか。

A.自転車をこいで電気をつくるとか、体験できるエコなものがあったら楽しそう。

#### 考察

自分から積極的に話しかけなければいけない取材は思っていた以上に大変でした。話しかけたら子供やお年寄りの方々が楽しそうに色々なことを話してくれて嬉しくなりました。実際に名東区にいる魚や虫を展示していて自然を身近に感じられるところが良かったです。生き物のイベントなので虫と魚のみだけでなく他の動物の現状を知るコーナーがあっても良かったかもしれません。ゲームで子供たちが楽しめていて良かったと思いますが、遊びだけでなく地球のことを考えさせる内容がもっと多くても良かったと思いました。たくさんの方が参加していて活気があって良いイベントでした。



## 9月13日(土)於猪高緑地

### 自然散策会

- ・取材日 9月13日
- ・取材時間 10時～12時30分
- ・取材場所 猪高緑地
- ・天気 曇り
- ・取材者名 寺西綾乃、原田恵里、大村理恵、森友紀
- ・イベント名称 自然散策会
- ・主催者名 名東区
- ・参加者の概要 中高年 約40人

#### 取材ノート1(森友紀)

##### イベントの内容

棚田を見るコース、池を回ってくるコースなど、いくつかのコースに分かれてスタッフのガイドを受けながら緑地内を散策。

##### 主催者へのインタビュー

他の区にない名東区の自然の特色を生かし、区民の方々に、名東区にはまだこんなにも自然が残っているということ、その良い所を知ってもらいたい。今、あちこちの市営プールが潰されており、猪高緑地にある名東プールも例外ではない。そこで、名東プールをもらって活動の拠点にしていくことが今後の目標だそうです。今まで里山的な管理がされていなかったため、ハチが出るなどの予期せぬ危険があるが、これからは里山として残していけるよう、しっかり管理していきたい、とのことでした。

##### 参加者へのインタビュー

###### \* 中年の女性の方 \*

この散策会を広報で知り、参加したいと思ったそうです。今まで散策コースなどをどのように回れば良いか分からなかったが、これを機会にこれから自分でも歩いてみたい、とおっしゃっていました。

###### \* 韓国人・中国人・アメリカ人留学生 \*

スタッフの一人に誘われて、興味があったので参加されたそうです。中国人留学生の方に今日参加してみてどうだったか聞いてみたところ、「日本の自然はきれいです。今日は参加してよかった。また参加する機会があれば参加したい。」と答えて下さいました。

##### 取材者の感想

散策コースを歩きながらの指導員の方の植物や昆虫についてのお話は、実物を見ながらの理科の授業のようでした。クモの巣を触ったり、ムカゴを食べてみたり、と取材をしに来たのを忘れてしまくらい、参加者の方と一緒に(もしかしたら参加者の方以上に)楽し

むことができました。時間を忘れてしまうくらいに自然を満喫して、楽しむ時間。そういう時間も大切ではないかと思いました。

## 取材ノート2 (大村理恵)

### イベント内容

4つのグループに分かれ、それぞれにスタッフが何人につき、周りの自然を楽しみながら目的地までそれぞれのグループのペースで歩く。

### 主催者へのインタビュー

- ・どのような趣向、目的で行っているのか？ 他の区にない、緑地が多いという名東の特色を生かすこと。また、自然が残されているのを知っていただき、自然のよさを感じてほしい。
- ・いつからどれくらいの頻度で行っているのか？ 2001年から年6回
- ・今日はうまくいったか？ ばっちり。でも女の子が蜂に刺されてしまった。はちに刺されたのは初めて。
- ・今後の目標 動物と人間の住み分け。生物の多様性。里山的な暮らし。

### 参加者へのインタビュー - 初めて参加した女性 -

- ・今日はなぜ参加したか？ 広報で見えて参加しました。猪高緑地が近いなんて知らなくて、これから自分で来て回れるように参考に來ました。
- ・参加してみたの感想 緑がいっぱいすごくいいです。また参加してみたいです。

### 取材者の感想

スタッフの方々は、あちこちに咲いている花や草の名前や由来をたくさん知っていて、とても勉強になった。また、今回の散策会には留学生が4人参加していて、日本の自然がすごくきれいと言っていて嬉しかった。

虫によっては木を枯らしてしまうことを知り、人が手を加え里山にすることの重要性を知った。

蜘蛛の巣のくつつく糸とくつつかない糸の違いを参加者に触らせながら説明したり、どんぐりを拾って種類の説明をしたりするなど、実際に目の前にあるものを説明していてわかりやすかった。また、大きな木の幹の中の音を聴診器で聞いてみるという、自分ひとりではなかなか体験できないこともできてよかった。

2008年9月28日(日) 於平和が丘コミュニティーセンター

## みんな集まれ！寺子屋 in 平和が丘

取材日：9月28日(日曜日)

取材時間：10時～12時30分

取材場所：平和が丘コミュニティーセンター

天候：晴れ

イベント名称：“みんな集まれ！寺子屋 in 平和が丘”

(名東区社会福祉協議会地域福祉活動計画事業)

主催者：名東区社会福祉協議会 協力：平和が丘学区連絡協議会

参加者：約30人、年齢層は高く、女性が多い \*講師の方々は名東区在住。

取材者：太田，長谷川，一谷

### 取材ノート1(長谷川真咲)

#### 寺子屋 in 平和が丘とは？

地域のボランティアが主体となって、各学区と連携し行う、『人との交流』を目指した活動です。コミュニティーセンターや地域住民の方々の協力により成り立っています。この活動は今年で4年目となります。この日は、ポッチャ、園芸教室、健康体操、認知症講座、伝承あそび、親子サロンの6つの活動が行われました。

1 限	2 限
10:00～11:10	11:20～12:30
ポッチャ	健康体操
園芸教室(花の育て方)	認知症講座
伝承あそび(囲碁・将棋)	
親子サロン 「大型絵本の読み聞かせ」(3歳児くらいまで)	

#### ポッチャ

ボールを転がすゲーム。ボールは赤白青の3種類で、野球のボール程の大きさ。2チームに分かれて、赤か青どちらのボールを転がすか決めます。まず、白のボールを転がし、基準となる場所を決め、それからチームごとにボールを転がしていくのです。より白いボールに近づけた方が勝ちで、白いボールに近づけば参加者はみな大盛り上がりでした！

デイサービスセンター「森の家」の渡辺さんは、『ポッチャ』という障害者スポーツを通して、地域との交流を深め広めていきたい、と話されていました。また、渡辺さんをはじめ、「森の家」の皆さんは、障害者に対する理解を深めてもらいたいという考えから、日頃から地域の小学校に出向いて積極的に子どもたちと交流を深める活動もしているそうです。

#### 伝承あそび

将棋、囲碁、おはじき、お手玉、竹とんぼ、面子などが置いてあり、子どもたちが自由に遊んでいました。昔のおもちゃには触ったこともない、という子が夢中になってけん玉で遊ぶ姿や、竹とんぼを飛ばしている姿は、見ていてとても微笑ましかったです。

また、今回初めて参加したという将棋好きの子を持つお母さんは、「これからもこういう機会があるとうれしい。将棋大会などがあるといいのでは。」などと話されていました。

以前も(平和が丘 in 寺子屋)に参加したことがあるという小学校4年生の男の子は、「宝石採りがしてみたい。」と、こそっと教えてくれました。

#### 参加者の声

2人のお子さんを連れていらしていたお母さんは、今回の活動について、「女性は子どもが生まれると、(寺子屋 in 平和が丘のような)地域の活動に関心を持ち、参加しようと思う。活動に参加することで、地域との繋がりを感ずることができ、安心して楽しい生活を送ることができる。最近では地域の繋がりが希薄に感ずる。子どもや高齢者の方の住みやすい環境を作るために、福祉や(今回のような)小さい活動の積み重ねがとても大切だと思う。そして、もっとたくさんの人に活動を知ってもらいたい。」と話されていました。

#### 主催者の声

事務局長の鈴木さんは、活動を無事終えて満足されているようでした。さらに、「このような活動はボランティアなくしてはできない。区役所、地域、教育機関などいろんな人が参加するボランティア活動によって担い手を育て、地域活動を活発にしていきたい。」と仰っていました。

また、平和が丘コミュニティセンターでは、日頃から社交ダンス、水彩画、フラダンスなど様々な講座を行っているようです。若い人が来やすい場所にしたいと仰っていました。

#### 編集後記

実は、今までこういった活動があることを知りませんでした。取材を通して、地域との繋がりの大切さを学びました。色々な情報を発信し、より多くの人に地域活動を知ってもらうことが、活発化の第一歩だと思います。

#### 取材ノート2 (一谷梨絵)

最初に名古屋市社会福祉協議会事務局長の鈴木さんにお話を伺いました。

名東区内在住の方々には講義できる方がたくさんいらっしゃるため、この方々と一緒に活動できる場として、この“寺子屋”の活動を4年前から行っています。今年は貴船学区と平和が丘学区の2か所です。(貴船学区は5月10日の名東の日に行われました。)

寺子屋の活動は、名東区社会福祉協議会地域福祉活動計画目標 ふれあい交友 情報(ホームページ・ボランティアチームの作成) 人づくり(福祉教育～障がい者施設との関わり～)の3つの中の にあてはまります。しかし、福祉的事業だとボランティアが重要となるが、実際少ないのが現状のため、継続させることが難しい。また、障がい者施設との調整も必要である。そういった中でも熱心に協力して下さる方々がいらっしゃるため、このような人材を育てていきたいと考えています。小学校の先生方でも、ほとんどがこのような事業を知らないため、もっと参加して知ってほしいといった声もありました。今後は、福祉施設や大学等とより連携して活動を進めていきたい。

\* 社会福祉協議会と区役所は深い結びつきがある！！

## イベントの主な内容

“子どもから高齢者まで、地域に住んでいるすべての人誰もが、健康体操など様々な講座を通して、ふれあい、交流できるきっかけとなるイベントです。” 各講座ごとに時間と場所が分かれており、全部で6つの講座が開かれました。詳細を以下に示します。

### 1限(10:00~11:10) 大会議室

『ポッチャ』子どもから大人まで楽しめる、誰にでもできるボールを使った簡単な障がい者スポーツ。

【ゲームの簡単な説明】 まず、森の家(重度障がい者のための施設)の方々が中心となって地域の子どもたちと一緒に赤(ポケモンチーム)と青(スパイダーマンチーム)の2チームに分かれます。ゲームは、進行者が始めに白のボールを転がします。それから2チームが赤と青のボールを交互に転がしていき白のボールにより近い位置により多くの自分のチームのボールを近づけた方が勝ちとなります。

#### 【森の家の施設の方へのインタビュー】

Q、今回の目的は？ 障がい者スポーツを通して地域との交流や理解を深めるため。

Q、今回の収穫は？ ポッチャのルールを参加者同士が(大人から子どもへ)教えていくことができたという点が良かった。

Q、今後の活動は？ いろいろな小学校へ行く予定です。

### 1限 中会議室 『地域実践講座～園芸教室(花の育て方)～』

講師の先生を含む12人(全員女性)が参加。60代~70代。花の育て方の基礎や秘訣等を講義形式で学びます。

参加していた70代前後の女性は、「花が好きなので参加しました。なおいっそう好きになりました。」と笑顔で答えて下さいました。また、講師の先生は去年から平和が丘コミュニティセンター内での苗づくり事業ボランティアに携わっており、花壇を造る際に植木鉢の手配の協力もなされたそうです。「参加者は近隣の方々が多く、いつも同じメンバーで活動しているというのが現状。そのためスタッフの方々と共にアンケートや文書をなるべく広範囲に配布するなど、今後も多くの方々の参加を期待していきたい。」と取材に応じて下さいました。

### 2限(11:20~12:30) 大会議室

『健康体操(リズム体操)』家でもできる内容。イスを使ったり、タオルを使ったりと気軽に行えるため、ぜひ、覚えて健康づくりに役立てよう！！

講師の先生(2人)と園芸教室参加者を含む16人が参加。40代~60代。“ジャズ”や“崖の上のポニョ”など、誰もが親しみやすい様々な音楽に合わせてみんなで体操する。

【体操後の参加者の声】「気持ちよかったあ〜。」「あぁ〜さわやか！」「汗かいちゃった。」等とてもスッキリとした表情でした。

#### 【講師の山田さん(68歳女性)へのインタビュー】

Q、どのような目的でリズム体操を始めたのか？



A、最初は、障がい者と健常者が一緒に体操できる環境というのが夢だった。しかし、広い場所が必要となるため、実際はなかなか難しく、今は別々の場所で行っています。

Q、平和が丘コミュニティーセンターの他の場所でも活動しているのですか？

A、知的障がい者施設にも行っています。勉強になります。

Q、平和が丘コミュニティーセンターでは、いつ活動しているのですか？

A、毎週月曜日の午後 13：30～15：00

参加者は 13 人前後で、ほとんどが女性。

Q、活動を続けていて一番嬉しいことは何ですか？

A、体操後に参加者の方々から、「気持ちよかった！」とか「体操しないとからだが痛くなる。」といった声を頂くと、やりがいがあると感じます。

2 眼 中会議室 『認知症講座』 参加者 5 人(男性 4 人, 女性 1 人)  
認知症についての正しい知識、認知症の方への接し方などについて学ぶ。

\* オレンジ・キャンペーン(手首にオレンジのバンド)

厚生労働省が認知症のサポートを認める。名古屋市も一人でも多くの理解を！と活動を推進。全学区で講座が開かれている。

10：00～12：30 小会議室

『伝承あそび(囲碁・将棋など)』昔懐かしい、コマ・けん玉・竹とんぼ・おてだま・だるまおとし・おはじき等で遊びます。高齢者の方々と子どもたちとの交流の場です。

【小学 4 年生の男子児童(2 人)へのインタビュー】

Q、今日は初めてきた？

A、児童 A：うん。 児童 B：前に点字で来た。あと将棋しに来たことある。

Q、今日は何をやりたくて来たの？

A、児童 A/B：将棋！

Q、こうゆうの(コマ・けん玉等)で遊んだことある？

A、児童 B：コマは学校でやったことある。おてだまはおばあちゃんの家でならあるけど、いつもはあまりない。

Q、どれが一番楽しい？

A、児童 A：竹とんぼ！ 児童 B：だるまおとし！

Q、今日は楽しかった？また来たい？

A、児童 A/B：うん。また来たい！

【児童の保護者(お母さん)へのインタビュー】

Q、今日はどうして参加しましたか？

A、子どもたちが将棋が好きなので、その付き添いで。

Q、今までにこのような催しに参加したことはありますか？

A、ないです。家が遠いので、なかなか参加できないんです。

Q、今後はどんな活動があったら参加してみたいですか？

A、将棋大会があるといい。以前東邦高校であったみたいなんですけど、申込みが必要で参加できなかった。(申込みがあると少し面倒)

毎週 曜日などいつでも(将棋を)やっている所があると参加しやすい。

#### 【子どもたちと対局した男性の声】

子どもたちは学校にある将棋クラブに入っていないみたいだけど、家でおじいちゃんやお父さんとやっているみたい。子どもたちとできるのは、このような機会の時。子どもたちは、とても真剣で、負ける時もある。(笑)

10:00~12:30 和室

『親子サロン「大型絵本の読み聞かせ(3歳児くらいまで)」』 30代前半の若いママと幼児“ポケットの会”のみなさんが手あそび(グーチョキパーで何作ろう,ポケットの中には等)や大型絵本(ありとすいか,バーバパパ,ともだちや等)、絵本(だっこのえほん等)の読み聞かせ等を幼児とそのお母さん方と一緒に話ししながら行って下さいました。参加者の1歳4カ月の女の子と3歳の男の子のお母さんは、「チラシを見て家が近かったので園芸教室目的で来たんですが、参加してみて楽しかったです。」と取材に応じて下さいました。

#### 【ポケットの会のメンバーの方々へのインタビュー】

(リーダー田中さん・梅村さん・飯盛さん・高橋さん)

Q、この活動はいつから続けられているのですか？

A、22年前からです。今年で23年目です。

Q、ほかの場所でも活動していますか？

A、名東図書館(対象：0歳～小学2年生まで)

名糖児童館(対象：1.0歳～3歳, 2.学童保育 小学1年生～3年生)

1人暮らしのお年寄りの方々との昼食会(お話し, エッセイ・詩・物語等の朗読)

これからも続けていきたいです。

\*以前は、知的障がい者施設にも行っていたそうです。

主催者へのインタビュー(鈴木さん)

Q、今日はどうでしたか？

A、上手くいったと思います。この学区は子どもが少ないため参加者の年齢層も高く、いつも少ない人数を想定して行っているのですが、今日はいつもと同じくらいでしたね。(30人前後)

Q、今後の目標を教えてください。

A、このような活動は現在、社会福祉協議会と各学区ごとに設けられている地域福祉推進協議会が主催となっているというのが現状。今後は地域の方々主催となっていくことが望ましいと考えている。しかし、各学区の負担になるという点や寄付金が少ないといった点など問題が多々あるため、より良い方向に進むようこれからも活動していきたい。

感想

今回の初取材で本当に様々な活動を行っているの方々のお話をたくさん聞くことができ、とても勉強になりました。今後も地域の方々の活動を通して多くの知識を身につけ、問題点・改善策等について自分なりに考えていこうと思いました。また取材に行きたいと思います。

## 取材ノート3 (太田裕万)

### イベントの内容

小さな子どもから高齢者まで、地域に住んでいる全ての人誰もが、健康体操やボール遊びなど様々な活動を通して、ふれあい交流できるきっかけとなるイベント!!

1限(10:00~11:10)、2限(11:20~12:30)と分かれており、出入り自由に遊ぶことができる。(講座形式以外)

#### 1限 ボッチャ

『ボールを使った、誰にでも出来る簡単なスポーツ。子どもから大人まで一緒に楽しめる障がい者スポーツ。』

車椅子に乗った障がい者の方3名と、小学生2名や大人と一緒にボール遊びをしていました。青色のボールチームと赤色のボールチームとに分かれて、自分達の転がしたボールが、白いボールにどれだけ近づけるかというゲームでした。カーリングのようなスポーツです。

#### 地域実践講座~園芸教室(花の育て方)~

『花の育て方の基礎を学ぶ。花のある暮らしは、心を豊かにしてくれる!!そんな美しい花を苗から育ててみよう。』

女性の先生と、だいたい40代~60代くらいの女性10人が参加していました。今回は「肥料」についての講座で、どのくらいの量でいつ肥料を与えるべきか!!などの説明でした。

#### 2限 健康体操

『家でも簡単に出来る内容ばかり。椅子を使ったり、タオルを使ったりみんなで楽しく健康づくりに役立てよう!!』

女性の先生2人と、だいたい15人くらい参加。男性は1人でその他は女性でした。車椅子に乗った障がい者の方も参加していました。1限に園芸教室を受け、2限に健康体操を受けるという方が多かったです。ストレッチをしたり曲に合わせて体操したり、最後には「ポニョ」を踊っていて、みんな爽やかな笑顔で楽しそうでした。

#### 認知症講座

『認知症についての正しい知識や、認知症の方への接し方などについて学ぶ。』

男性の先生と、だいたい50代~60代の5人が参加。そのうち男性4人、女性1人でした。物忘れと認知症の違いの説明では、物忘れの場合、しまったことは覚えているのに、どこへしまったか忘れてしまう症状。認知症の場合、しまったことすら覚えていなくて、おまけに誰か取ったのではないだろうか?と人を疑ってしまうこともある症状など、他にもいろいろ説明していました。

#### 1限と2限開講 伝承遊び

『昔懐かしいコマやけん玉など自由に遊ぶ。他には、囲碁や将棋もあり、大人が遊びを教えたり、将棋で勝負もしたり出来る。』

将棋で大人の方と勝負している時の子ども達の目は、とても真剣でした。  
けん玉やだるま落としをしたりなど、昔の遊びを楽しく遊んでいました。

### 親子サロン

『乳児～3歳児くらいまでの小さな子どもとお父さんやお母さんとゆったり出来る空間。たくさんのおもちゃがあったり、絵本の読み聞かせもある。』

3歳のお兄ちゃんと1歳4ヶ月の妹さんとお母さんが参加。いろいろなおもちゃで遊んでいました。10時30分頃になると、4人の女性の方「ポケットの会」が大型絵本の読み聞かせをしてくれました。「ありとすいか」、「だっこのえほん」、「おばけのバーバパパ」など、どれも小さい子どもでもわかりやすい内容でした。

### 主催者へのインタビュー

Q どのような趣旨・目的で行っているのか

福祉教育を目的として力を入れている。そして、3つの柱がある。

1. ふれあい交流 = 寺子屋
2. 情報 = HP (ホームページ)
3. 人づくり = ボランティアセンター

Q いつからどのくらいの頻度で行っているのか

この活動は今年で4年目となる。年にだいたい2、3回行っている。

Q 今日はいったか(目的が達成できたか)

「うまくいった!!」とおっしゃっていました。

Q 今後の目標(今後はどのような活動を展開していきたいか)

子どもの参加が少ないため、どうしても年齢層が高くなってしまふ。貴船では、子ども会が主催しているため、子どもの参加が多い。従って、平和が丘も子ども会や地域主催になって、子ども達の参加が増えるようにしたい!!

### 参加者へのインタビュー

Q 今日は何で参加したか

- ・チラシを見て参加。
- ・前にも参加したことがあって、楽しかったから今回も参加した。
- ・子どもが来たい!!と言ったからついてきたというお母さん。

Q 参加してみたの感想(どのような収穫があったか)

- ・楽しかった。
- ・また来たい!!
- ・遠いからあまり参加することができないのが残念。

Q 今度はどんな活動に参加したいか

- ・宝石取りをしたい!!
- ・将棋大会に参加したい!!

## 取材者の考察

### ・取材してみたの感想

子どもの参加が思っていたよりも少なくて残念でした。こんなにも、楽しい活動ばかりなのだから、子ども達や地域の人々にももっと参加してもらい、たくさんの人とふれあい、交流していき、地域の人々親しくなれるきっかけとなればいいなぁと思いました。

### ・イベントのよかったところ

車椅子に乗った障がい者の方と健常者が一緒になって、ボール遊びをしているところが良かったです。 出入り自由で自分のやりたいことができるため、気軽に参加できるところが良かったです。

### ・イベントの改善点(もっとこうしたらよくなる!!等のアイデア)

広告の中に入れてたり、配ったり、回覧板などでこの活動を知らせているということだったので、子ども達の参加を増やすためにも、近くの小学校で、1人1枚ずつ「寺子屋 in 平和が丘」のチラシを配ってみてはどうだろうかと思いました。



## 2008年10月3日(金)於名東文化小劇場

### 区民芸能まつり

・取材日	10月3日
・取材時間	3時半～4時半頃
・取材場所	名東文化小劇場
・天気	晴れ
・取材者名	松岡彩 森永光希 串田千菜美
・イベントの名称	名東区民芸能まつり
・主催者名	名東区民芸能まつり実行委員会 名東区区政協力委員協議会・民生委員児童委員連盟名東支部 名東区社会福祉協議会・名東区文化協会・名東区役所 (協力：舞台ボランティア「豆の木」)
・参加者の概要	55組が出演。60代女性が多いようにみえました (プログラム合計、220人)区民芸能まつり実行委員会主催

#### 取材ノート1(松岡彩)

##### イベントの内容

学区代表および公募の一般参加により、民踊・日本舞踊・民謡・詩吟・奇術・コーラス等の発表と交流を行う。

##### 主催者へのインタビュー

Q:どのような趣旨・目的で行っているのか

A:「文化香る、活気と思いやりのあるまち」のスローガンのもと、区民の文化活動を支援すると共に、一人暮らしの高齢者を招待することにより、社会参加の促進および出演者と観覧者のふれあいの場を提供し、もって、高齢者福祉の増進を図る。

Q:いつからどのくらいの頻度で行っているのか

A:昔は区役所がやっていた。区ができたあたりから秋祭りとして年に1回やっていた。また、名東の日にもやっていた。

Q:今日はうまくいったか(目標が達成できたか)

A:よかった。区内の19学区の中から2組ずつ。参加者は200人越え。

Q:今後の目標

A:このまま順調にやっていきたい。みんな顔見知りである。区には160万人いる人たちが「秋にはコレ」と、練習している。「豆の木」が約10年、司会や設置などを手伝ってくれている。昔は職員がやっていたが、安心して任せることができる。好きでやっているからリハーサルなども頑張ってくれる。他の行事にもお手伝いできている。この名東区民芸能まつりは、トラブルも無く、わきあいあいとやっている。1時間もしないうちに満席になった。

豆の木さん

Q:今日はどうでしたか

A:楽しかった。豆の木は何年もやっているから役割のバランスができているから、気持ちよく助け合える。名東文化協会にも参加。ここで依頼がきてもやっている。

Q:どんなことをしていますか

A:舞台裏でやる仕事が多い。人手が足らなかつたら、司会もやる。音・照明・司会・仕込みが主である。できることをできる範囲で助け合う。

参加者へのインタビュー

今日はなぜ参加したか

参加してみたの感想

今度はどんな活動に参加してみたいか

# 50代ほどの女性 2人組

習っていてその発表会

いつも通り

仲間同士のコミュニケーションで。

# 70代ほどの女性

出演。習い事。

楽しかった

せっかく便利な場所にこういうホールがあるので、映画会(500円くらいで)があればいい。

# 50代ほどの男性

奥さんが出演。

上手です。

奥さんが踊りをしているので、踊りがあればいいと思う。

# 50代ほどの女性 2人

学区で出れるうちの1つ

みんな慣れている。どきどきしていたけど成功してほっとしている。参加してよかった。

結構話があるが、練習が忙しい。

# 70代ほどの女性

名東区民で元気だったから出た。なるべく踊る。

いろんな種類があって楽しい。みんな見に来てくれる。

いろいろやっているからたくさん出たい。

## # 70代ほどの女性

区民祭りだから

楽しい。知っている人ばかりだから。身内。元気、健康のためにも。

民踊

### 取材者の考察

#### ・取材してみたの感想

私が行ったのは授業の関係で 3:30 過ぎくらいで、プログラムでは終盤でしたが、ホールの客席は満員で立ち見の人が出てしまうほどでした。こんなに多くの人が最後まで楽しむことができるこのイベントはすごいと思いました。主催者の方がみんな顔見知りというように、毎年参加者が多いということで、みんな楽しみにしているようなので、これからも続けて行ってほしいと思いました。

#### ・イベントのよかったところ

参加者や見学者が多かったところ。みんなが楽しめていたところ。会場が、わかりやすく交通の便のよいところにあるところ。

#### ・イベントの改善点

客席がもう少し多かったら、立ってみる人が出なくてすむと思いました。

### 取材ノート(守永光希)

#### 主催者

「区民芸能まつり」は区が誕生した頃から年 1 回行っているイベント。区民の方々がこれに出るため練習してくれている。舞台設置や照明音響は 10 年来ボランティアの方が手伝ってくれているので安心してている。会場の設備がとても良く、参加者も満足してくれている。参加者同士がほとんど知り合い同士なので和気あいあいとした雰囲気です。トラブルも無く開催できている。今回も開始 1 時間で満席になったので、この調子でやっていきたい。

#### ボランティア団体「豆の木」さん

「豆の木」さんは、主に音響・照明・司会など裏舞台をお手伝いしています。名東区民の他にも様々な区の方が参加していて、月 1 回会議をするそうです。「豆の木」はもう何年もやっていて役割分担ができているので自分のできることをできる範囲で助け合い、気持ちよく助け合えると話してくれました。みなさんとても楽しそうでした。

#### 参加者

(70代女性)

Q: 今回はなぜ参加しましたか。

A: お稽古の発表をしました。楽しかったです。

Q: 今後どのような活動に参加したいですか。

A: せっかく駅前に大きい劇場があるんだから、映画会などがあれば嬉しいです。

(50代女性)



Q：出演した感想はありますか？

A：みなさん舞台に慣れているようでした。出演前は緊張していたけれど無事成功したほっ  
としています。参加できてよかったです。

（70代女性）

Q:なぜ参加しましたか。

A：名東区民で、体の調子がよかったので出演しました。

Q：感想はありますか。

A：色々な種類の出し物があったり、知っている人が見に来てくれるので楽しいです。健康  
のためにも良いと思います。

### 考察

会場にいる人のほとんどが出演者だったことでも分かりましたが、舞台に立つ人の人数  
が多いことに驚きました。会場から出てきたところに声をかけたところ、どなたもいきい  
きとした表情をされていて、発表が楽しいものだったことがわかりました。ただ習い事を  
しているのではなく、こういった発表の場があることでやりがいが出てくるのでとてもい  
い行事だと思いました。発表した方だけでなく、ボランティアの「豆の木」の方々も楽し  
そうに動いていて、やりがいがあることだということが見ていて分かりました。地域の人々  
が協力して1つの舞台を作ることの素晴らしさを感じました。

しかし会場全体の年齢層が高かったので、平日ではなく休日に開催すれば出演者の子供や  
孫なども見に来ることができてにぎわうのではないかと思いました。演目も民謡や舞踊ば  
かりではなく、もっと色々なジャンルのものを取り入れれば更に親しまれる行事になるか  
もしれません。



2008年10月20日(月)於前山小学校

## 敬老(ふれあい)給食会

- |          |  |
|----------|--|
| ・取材日     | 10月20日(月)  |
| ・取材時間    | 11:30~13:00                                      |
| ・取材場所    | 前山小学校  |
| ・天気      | 晴れ   |
| ・取材者名    | 松岡彩 森永光希 山田真紀                                    |
| ・イベントの名称 | 敬老給食会  |
| ・主催者名    | 前山小  |
| ・参加者の概要  | 高齢者が多かったと思います。<br>女性の方が多かったです。<br>50代ほどの方もみえました。 |

### <内容>

- 11:30 校長あいさつ、栄養職員による給食及び栄養についての話。  
栄養職員の小林さんが「市の給食について」や「高齢者の食事」について参加者の方々にお話しました。パネルや ×クイズを使ってわかりやすく説明していました。
- 12:20 各教室へ移動  
各教室担当の子どもたちが迎えにきてくれました。
- 12:30 会食  
各教室1~3人ずつに分かれて子どもたちと給食を食べました。
- 13:05 解散

### 取材ノート1(守永光希)

#### 校長先生の話

昨年までは生徒とは違う教室で給食を食べていたけれど、せっかくなら子どもたちとふれあいながら楽しく給食を食べようということで、今年から教室で一緒に食べるかたちになりました。

#### 栄養職員の牧の原小学校・小林さんの話

大勢の前でお話をするのは今回が初めてのことで、話しやすいように反応してくれたので話しやすかった。どういう内容で話をすればいいのかわからず不安だったけどクイズも顔の体操もやってくれてやりやすかったと話してくださいました。小林さん自身にも高齢の母がいるので機会があればまたやりたいと話していました。

#### 参加者

(1年2組担当・70代女性)

Q：感想をお願いします。

A：子どもたちが折り紙などで色々なものを作って寄ってきてくれたので楽しかった。

ご飯を食べているときに立ち歩くのはいけないと思った。最近は核家族化で家庭におばあちゃんおじいちゃんがいる家が少ないから、ちゃんとしつけができていないのではないかと不安です。

毎年参加しているので来年もまた参加したい。

（役員・60代女性）

Q：行事の役員ボランティアではどれくらい活動しているんですか？

A：年6回給食サービスの活動をしています。12月にはもちつき大会もあります。

Q：今回の給食会はどうでしたか。

A：自分たちが食べていた給食とは大きく違っているし、たまには子どもたちと給食を食べることも良いものなので良い行事だと思います。今回は前日が区の運動会だったこともあり、参加者が少なかったのが残念です。

Q：改善点はありますか？

A：高齢者の方の中には足が悪い方が結構いるから、階段のある会場だと参加しにくい人も出てくる。区の行事は階段が多い体育館などでやることが多いので、場所を考えるともっとスムーズにできると思います。

## 考察

今回参加するまで、お年寄りの方が給食を食べるということしか知りませんでした。食べる前に栄養職員の方が高齢者のために食事の話をするのはとても良い機会だと思います。病気をしたり、のどに物を詰まらせてしまう原因や理由まで分かりやすく説明していて、とてもためになるお話でした。

教室に移動して、子どもたちに囲まれて給食を食べている時、参加者の表情にはずっと笑顔がありました。食べ終わってないうちから立ち歩く子どもに注意したり、おかわりのジャンケンをしたりと楽しく給食を食べていました。一人暮らしの方は大勢の子どもたちとご飯を食べることで明るい気持ちになれるし、子供たちはおじいちゃんおばあちゃんと一緒に給食を食べて新鮮で楽しい気分になれる。ひとつの地域交流のかたちとしてとても良い行事だと思います。

足が悪い方の教室はなるべく階段を使わなくても行ける近い教室にすれば、疲れないし子どもたちとの時間が多く取れて楽しいと思いました。

## 取材ノート2 (松岡彩)

### イベントの内容

栄養士のお話を聞き、児童と一緒に給食を食べて触れ合う。

### 主催者へのインタビュー

Q:どのような趣旨・目的で行っているのか。いつからどのくらいの頻度で行っているのか。

A:年6回地域の方向けで行っている。

Q:今日はどういったか(目標が達成できたか)

A:今回は、昨日が運動会で地域の方の参加もあったため、今回の給食会の参加者は少なかった。

Q:今後の目標

A:学校は階段などの段差が多いため足が悪い方には不便なので足の悪い方への配慮が必要。

#### 参加者へのインタビュー

今日はなぜ参加したか

参加してみたの感想

今度はどんな活動に参加してみたいか

#### # 児童

楽しかった

#### # 1人暮らし女性

元気が出た。おいしかった。栄養士さんのお話は勉強になりました。また参加したい。

#### 取材者の考察

##### ・取材してみたの感想

栄養士さんのお話はクイズ形式であったり、紙芝居のようなもので説明していたりと工夫しており、とてもわかりやすかったです。お年寄りの方のためになるようなお話でした。児童と給食を食べて触れ合ったときには、私の行ったクラスでは、サイン会のような形となり、十分に子どもたちと触れ合うことができていると思います。また、教室は歓迎の言葉が黒板に書いてあったり、「いただきます」や「ごちそうさま」の挨拶の前に今日は来てくれてありがとうなどの言葉をいってくれたりして、とてもうれしく思いました。これをきっかけにお年寄りの方が栄養に気を使ってくれたらいいと思いますし、また、このイベントにもっと多くの方が参加して、子どもたちと触れ合ってくれたらいいと思いました。

##### ・イベントのよかったところ

その日の給食の献立が『鹿児島汁、おからの煮物、ピーチゼリー』とお年寄り向けであったこと。子どもたちと触れ合うことができること。栄養士さんのお話がこれからの食生活の参考になること。

##### ・イベントの改善点

役員の方も言っていたのですが、足が悪い人への配慮があれば、足が悪い人も気軽に参加することができると思います。

2008年10月25日(土)於名東図書館

## 名東図書館に行ってみよう！ 不用図書リサイクル会

- ・取材日 10月25日(土)
- ・取材時間 2時間
- ・取材場所 名東図書館
- ・天気 晴れ
- ・イベント名 名東図書館に行ってみよう！ 不用図書リサイクル会
- ・主催者名 名東図書館
- ・参加者の概要 (約350~400人参加。家族連れ、ご年配の夫婦などが多い。20代や10代後半の若い人はほとんどいない。)

### 取材ノート1(恒川典子)

#### 参加者概要

年齢層：幅広い しかし、10代後半~20代の若者は少ない！ 子連れの方が多い！

男女比：ほぼ5：5

人数：約400人

#### 内容・主催者の話

- ・ 購入してからだいたい5年程経ち、ボロボロになってしまった本来廃棄されてしまう本を必要とする人に譲り、リサイクルすること。(目的)
- ・ このイベントに参加した人がついでに図書館で本を借りてくれること。(望み)
- ・ 一人でも多くの方が図書館を利用してくれること。(望み)
- ・ “捨てるはずの本に命を吹き込む” イベントだとおっしゃっていました。

#### システム

整理券が並んでいる人に配られる(何時に入場できるか書いてある)9:55 開場

- ・ 50人単位で入場
- ・ 20分ごとにお客さんの総入れ替え
- ・ もらえるのは一人20冊まで(ただし児童書は5冊まで)

今年リサイクルに出された本 合計 9107冊

備品図書	21冊
普通図書	2827冊
雑誌	1253冊
紙芝居	6冊

## 人気

年配の方	全体的に
1 文学	1 児童書
2 児童書	2 文学
3 高学年物語	

↑  
孫に！

- ・開場から1時間たっても一足が途絶えないほど大盛況だった。
- ・児童書がとても人気！お客さんが3サイクルしたぐらいで絵本は終了！また、他の児童書も昼までにはほぼなくなる程の人気ぶり。

## 参加者の声

Q . このイベントは何で知りましたか？（終わった人に）

A . ・図書館の掲示板で見て知りました。

- ・本借りにきた時にもらった紙で知りました。
- ・ネットで見ましたよ。このあと中川区のイベントにも参加するつもりなんです。

Q . 今日は何時に並んだのですか？（一番＆二番の人に）

A . ・昨年9:30にきてすごい人だったので朝5:30から並びました！今日は絵本ねらいです！（1番の方）

- ・今日は朝4:00に家を出て自転車でここまで来ました。6:00についたから一番だと思っていたけど二番でちょっと残念。今日は鉄道の本ねらいで来たよ。

Q . 何か希望があったら教えてください。（終わった人に）

A . ・もっと時間を長くして欲しいよ。20分は短い！選び足りない。

- ・児童書が少ないかな。絵本ねらいで来たのに。
- ・もっと全体的に本を増やしてほしい！
- ・他の図書館とイベントがぶつからないようにしてほしいよ。回るのが大変だ。
- ・児童書5冊の枠をやめて欲しい。もっと絵本もらえんと思ってきたのに。

Q . 今日、二階で不用図書リサイクル会がやっていることを知っていますか？

（一階の本を借りに来た人たちに）

A . ・たまにマンガとか借りにくるけど、知らない。（中学生）

- ・知っていますよ。でも、家にたくさん本があって置き場に困るから私はいきませんけどね。（40代主婦）
- ・知ってますけど、こんなに待ち時間が長いなんて思わなかった。今回はやめておくつもりです。（子どもをつれた男性）

Q . どんな収穫がありましたか？

A . ・さくらももこの本と、小説と、雑誌、辞典とか合計10冊です。（小学生女子）

- ・鉄道の本です！最初からそれねらいで来たので。（二番に並んだ・男性）

## 考察

感想：今回取材して、先ず予想以上にたいへん多くの方が朝早くから並んでいらっしやることに驚きました。そして、児童書の人気ぶり、子どもづれの親子がとても多いことなど驚きの連続でした。

### よかったところ

- ・本来ごみとして捨てられてしまう本を、図書館を盛り上げるのに役立て、リサイクルにもなっていること
- ・整理券が配られ、訪れた方がずっと並んでいなくて済んだこと
- ・時間制で待っている人が待ち時間を把握できるようになっていたこと
- ・本をもらう方に袋を配ることがなく、エコなこと
- ・もらえる本の冊数が決まっていることで、あとから来た方も本がもらえたこと
- ・幅広い年齢の方にこのイベントが知られていたこと

### 改善点

一階で本を借りている小中学生で、このイベントを知らない方がいたので、イベントの宣伝を図書館の掲示板やインターネットだけでなく、区の小中学校にも宣伝してみたらどうだろうか？と考えました。

## 取材ノート2 (辻由佳)

### イベント内容

5年ほどたち、老朽化の激しい廃棄の決まった図書を、市民に無償で配布する。1年に1度の図書館の本のリサイクル会。

### 主催者へのインタビュー

5年ほど経ってボロボロになった本は捨てられてしまいます。かつてはゴミとして捨てられていましたが、『もったいない!!』ということで、リサイクル会を開くことになりました。全体では昭和58年から行われています。名東図書館では平成4年から行っています。本来の趣旨は、蔵書点検の際に廃棄と判断された本を、トワイライトや読み聞かせの会などに提供するということでした。今年もこの会の前に2000点近く提供しました。『本に命を吹き込む』という意味で、多くの方々に利用されるのはうれしいことです。10月27日～11月9日の期間が読者週間ということで、本を読むきっかけにしてほしいです。

名東図書館は、上位3位には入るくらいの利用者が多い図書館なんです。各区で何館か同じようにリサイクル会を行っていますが、ここは参加者も多いです。今年は、備品(辞書など)21冊、図書7827冊、雑誌1253冊、紙芝居6組の計9107点を用意しました。

リサイクル会だけを目的にするのではなく、これをきっかけに図書館をどんどん利用してほしいです。」

### 参加者へのインタビュー

\*60代の夫婦

8:30から並びました。今回で4回目です。20冊いただきました。今回も良い本がありました！ありがとうございます。

( これから参加してみたい活動は? ) みんなを集めてあそび交流会がほしいです。

\* 小・中学生の女兒 3 人

初めてきました。本は大好きです。小説や知識を得られる本が好きです。リサイクル会でもらった本は何度も読み返せることができそうです。これからは毎年きたいです。

( ) お話の会や科学的なミニ実験などに参加してみたいです。」

\* 家族 ( 40 代夫婦・小学生の女兒 2 人 )

8:00 から並びました。今回で 3 回目です。本は好きです。児童図書がもっとあると良いです。児童図書の中でも、物語や図鑑などが混ざっていて探しづらかったので、区別してもらえると良かったです。高学年向けの物語も増やしてほしいです。

\* 40 代の女性 ( 1 番先頭で並ばれた方 )

5:30 から並びました。2 回目です。それまでは知らなかったです。去年はたまたま掲示板で見て参加しました。去年は 9 時に来て遅かったので、今年は早く来ました。来年も 1 番に来ます!!こんなに人が多いのにはびっくりしました。絵本が少なかったのには残念でした。

\* 40 代の男性 ( 2 番目に並ばれた方 )

今日は 4:00 に家を出て自転車で来ました。鉄道の本をきっちりいただきました。収穫はばっちりです! 16 区で行われている本のリサイクル会にほぼ参加しています。今日も中川区でやっています。でも、2 区以上で日程が重なると参加できなくなったりするので、日程のダブリはやめてほしいです。あと、本の量も増やしてほしいです。

( ) 地下鉄や市バスのウォークラリーに参加したいです。

\* 30 代の女性 ( 2 人の子連れ )

3 回目です。普段は値段が高くて買えないので、子どもと写真で見て勉強できる地図や図鑑などがもっとあると良いです。来年も来たいです。

( ) 小学生でも参加できる読み聞かせの会があると良いです。現在行われている会には、学校が終わってからでは間に合わないことが多いです。

#### 取材者の考察

まず、こんなにたくさんの方が参加していることにとっても驚いた。始まる前から、図書館をぐるっと囲むように 200 人くらいの方が並んでいて、この会に期待する区民のみなさんの意気込みが感じれた。会場はバーゲン会場みたいで、とにかく私は驚いてばかりだった。

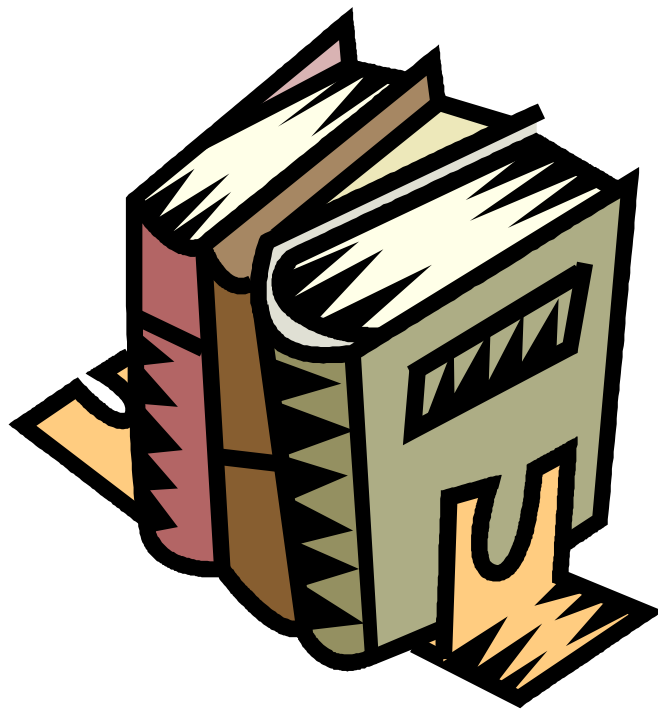
なぜ私がこの会の取材を希望したかということ、本が好きで、図書館が好きで、実際に名東図書館の利用者だからだ。「こんな会があったんだ! 行ってみたい!!」という区民として普通に興味を持ったからだ。取材しながら「あの本欲しいなあ」と思ってしまった。捨てられてしまう本に興味がある人にもう一度利用してもらおうということは、大変良いことだと思う。まさに『もったいない精神』だろう。主催者の方の言葉で『本に再び命を吹



き込む』という言葉が印象に残っている。私も実際に見たが、廃棄が決まった本といっても、まだ十分に読むことができる。資料としての価値もあると思う。ゴミになってしまうところだった本たちが、また新たな居場所を見つけられてよかったと思う。ましてや、興味を持って自主的に集まってきた人々にもらわれて行ってよかったと思う。

このような会はずばらしいと思う。しかし、私はこの会の存在を知らなかった。「こんな会あったんだ」と思う区民はけっこういるのではないかと思う。図書館利用者でもいるのではないだろうか。ぜひ、どんどんアピールしてほしいと思う。

参加されたみなさんの声が多かったのが、「絵本などの児童書をもっと多くしてほしい」とのことだ。このような区民の声もぜひ参考にしていきたい。



2008年10月31日(金)於名東福祉会館

## お楽しみ演芸会

・取材時間	9:30~11:00
・取材場所	福祉会館
・天気	くもり
・取材者名	松岡彩 串田千菜美
・イベントの名称	お楽しみ演芸会
・主催者名	名東福祉会館
・参加者の概要	60代が多いようにみえました 男女の比率はやや女性が多めだと思います。

### 取材ノート(松岡彩)

#### イベントの内容

お楽しみ演芸会。

お年寄りの方が民踊やカラオケなどを発表し、楽しむもの。

また、文化部の展示。

#### 主催者へのインタビュー

Q:どのような趣旨・目的で行っているのか

A:ここ(福祉会館)で民踊などの講座を開き、心身の健康のために活動をしています。このような活動をすることで、お年寄りの方々は仲間ができ、居場所ができます。その講座でやっているものの発表の場となるのが、この「お楽しみ演芸会」なのです。発表会があることで、それに向けてがんばり、熱中します。そして、熱中することで若返ったり、若さを保つことにつながると感じますし、生きがいにもなると思います。また、幼稚園の子達にも来てもらうことで、世代を超えた交流にもなります。

Q:いつからどのくらいの頻度で行っているのか

A:代々やっています。35年ほど。

Q:今日はうまくいったか(目標が達成できたか)

A:今回はみんな新しいスタッフでやっているなので、残りもうまくいくようにがんばりたいです。

Q:今後の目標

A:これを通じて利用者を増やしたいです。そして、ぜひ宣伝してもらいたいです。

#### 参加者へのインタビュー

今日はなぜ参加したか

参加してみたの感想

今度はどんな活動に参加してみたいか

#### # 琴の発表者

毎年だから

できはよかったです。1年かかって練習したので。

ここ（福祉会館）でやるやつならやりたいです。よそではやりたくないです。

#### # 民踊の発表者

ここで稽古しているから

#### # カラオケの発表者

ここで習っているから。

よかった。老人の楽しみ会だで。

#### # 民踊の発表者

ここで練習している。

これからやるからがんばる。

#### \* 子ども

衣装は手作り。ソーラン節を踊った後、おみやげをお年寄りの方に渡す。

#### 取材者の考察

##### ・取材してみての感想

いい意味で、取材はしにくかったです。どういう意味かということ、みんな久しぶりに会った様子だったので、話に花が咲いて、私が話を聞くのが申し訳ないほどでした。

とても多くの方が参加して、参加者は皆いきいきしていたように見えました。みなさんこの発表会を楽しみにしていたようで、とても楽しそうでした。これからもこのような会が行われるといいと思いました。また、それを支えるスタッフの方も一生懸命やっていて、すごいと思いました。

##### ・イベントのよかったところ

お年寄りの方がとても楽しそうだったところ。スタッフの方がとても一生懸命だったところ。子どもとの交流があったところ。

##### ・イベントの改善点

通路が少し狭くて通るのに苦労する人が見えました。入る場所と出る場所が同じだからかなと思いました。

2008年11月3日(月・祝日)於明德公園

## ふれあいウォーク名東

取材日：11/3(月・祝)

取材時間：9:00～11:00

取材場所：明德公園児童球戯場

天気：曇り

取材者名：岩間絵里佳・草田梨愛

イベント名：第4回ふれあいウォーク名東

主催者名：名東区役所職員稲垣さん・柴田さん

参加者：約260～270人

男：女 4：6 小学生～お年寄りまで幅広い

野球部の子ども達・家族連れ・友達同士・夫婦での参加が多い

### 取材ノート1(岩間絵里佳)

#### イベント内容

「ふれあいウォーキング名東」は名古屋市全体で行われている「なごやかウォーク 2008～2009」という取り組みの中のイベント

- ・9:00～受付開始・ウォーキングコースの説明
- ・全体でスタート(全体でのスタート終了後に来た人たちは、受付けを済ませたら順次スタート)
- ・明德公園から香流川の河川敷を各自のペースで歩く(約4km)
- ・先頭集団は10:00頃ゴール
- ・スタンプラリー・参加賞受け渡し
- ・ゲームコーナー(輪投げ・フリスビー+景品)自由参加
- ・各自解散

#### 主催者インタビュー

Q：今回イベントをやってどうでしたか？

A：全体的に大満足とはいえないけれど、参加者のみなさんは満足した様子だったのでとてもよかった。

Q：今回のイベントでよかった点は？

A：天候が心配だったけれど、雨が降ることなくウォーキングに適した環境で歩いてもらえたこと。

Q：よくなかった点

A：参加人数が前回よりも少なかった。もっと参加してもらえるように工夫したい。

#### 参加者インタビュー

( 加理由 参加してみた感想 他のイベントについて)

- ・参加3回目・男性： 広報の取材をかねての参加 たくさんの人とふれあえるところが好き これからもたくさんの人とふれあえる様々なイベントに積極的に参加したい。
- ・初めて参加・夫婦： 毎日歩いている所でのイベントだったから とても気持ちよくウォーキングができた満足だった。
- ・数回参加・男性2名： ウォーキングのイベントには大体参加しているから 歩いているうちはつらかったりするけれど、ゴールした後の達成感が好きだ。
- ・参加2回目・女性2名(小6・5)： クラブ活動の一環として参加 川を見ながら歩けるのが楽しい 楽しいイベントなら他のも参加したい。
- ・参加10回目・男性： なごやかウォークの他のイベントにも参加しているから今回も参加 名古屋の知らないところを歩くことで知ることができるし、こんな所もあるのかと新しい発見があるからとてもよかった まだイベントがあるので他の所も歩きたい。
- ・初めて参加・男性： 毎日散歩をしている明德公園でたまたまイベントをやっていたので参加 いつも歩いているけどまた違った感じで歩ける 他のイベントに参加するかはまだわからない。
- ・参加4回目・女性： 歩くのが好きだから参加 コースが歩きやすかったのがよかった。
- ・参加3回目・女性： 友達と参加できるから 今は紅葉の時期だけれど、桜が咲いているのをイメージしながら歩くことができ気持ちよかった。

#### 取材をしてみたの感想

参加者のみなさんはすごくいい表情でウォーキングをしてみえて、いつも明德公園を散歩している方々もこのイベントでは日ごろとは少し違った気持ちで歩くことができたり、達成感をあじわいながらウォーキングをしたり、イベントを通じて人とのふれあいを楽しんだり人それぞれさまざまにこのイベントを楽しんでいて、子ども～お年寄りまで一緒に参加する事ができるのでとてもいいイベントだと感じました。

またウォーキングだけでなくゲームコーナーがあり、子ども達が楽しめるような工夫がされていたり、スタンプラリーをしてまた他のイベントにも参加してもらえるように次につながるような工夫がされている所もすごいと思いました。

そして参加者の方で、こういったウォーキングイベントを名古屋市全体で行っているの、自分の知らない道や風景を見たり感じたりすることができるし、新しい発見をすることができてすごく楽しい！と試してみえる方もいて、名古屋のよさを肌で感じることでこういったイベントは大切だと思うし、もっとたくさんの方が参加することができればとてもいいと感じました。

もっとこうしたらいいと思った点は、このイベントは各自でゴールしたら終わりといったラフなところもいいのですが、参加者の皆さんに参加した感想を一言書いてもらってそれを集め、「参加者の声」といった新聞みたいなものを作ることで、参加してみないとわからないこのイベントのよさをもっと他の人にも伝えることができると思うし、具体的な改善点も見えてくるのではないかと思います。

## 取材ノート2 (草田梨愛)

今年で4年目を迎える「なごやかウォーク」！春と秋を中心に、市内16区の選りすぐりのコースを歩きます。

これから行われるイベントは、なごやかウォーク守山・天白なごやかウォーク・中区ファミリージョギング&ウォーキング大会・南区さわやか大会・見上げてごらん金シャチウォーク09・春のファミリーウォーキングがあります。各イベントの参加については、区役所まちづくり推進室または名古屋市公式ホームページで確認できます。

私は今回、明德公園で行われた「なごやかウォーク」に参加してきました。

明德公園は名東区の北部に位置し、広さは18ヘクタールあり、園内にある明德池は市民のつり池となっています。周りは市街化されていますが、四季を通して鳥・虫・花を観察することができ、比較的自然が残されています。公園の最高地は72.6mで、屋根沿いの遊歩道も整備され、里山の雰囲気を楽しむこともできます。

今回の参加者は260人~270人で、男4・女6の割合でした。

約45分のコースで、河川敷を歩きました。私も参加者の方々といっしょに歩き、参加者の方々にインタビューさせていただきました。6組の方々にインタビューしたので、順番に紹介していきたいと思います。

1組目は、おじいさんとおばあさん、そしてお孫さんの3人組での参加でした。今回が1回目の参加ということです。普段は名東区に住んでいないお孫さんが久しぶりに帰って来て、コミュニケーションを取ることも兼ねていっしょに参加されたそうです。3人で手を繋いで、和気藹々とウォーキングを楽しまれていました。

2組目は、カメラを片手に写真を撮りながら、お一人で参加のおじいさんでした。今回が3回目の参加だそうで、明德公園以外のウォーキングにも参加されているベテランさんでした。私の方が知らないことが多くて、教えていただくことばかりでした。

3組目は、お父さん・お母さん・娘さんと息子さんの4人家族での参加でした。この方々も名東区だけでなく、様々な場所で行われているなごやかウォークに参加されているそうです。明德公園での参加は2回目だそうですが、さすがに慣れた様子で、颯爽と歩いていかれました。

4組目は、4年生の女の子2人組での参加でした。2人はバドミントンクラブの仲間だそうで、私もバドミントンをしているので、その話をしながらいっしょに楽しく歩くことが出来ました。

5組目は、ご夫婦での参加でした。旦那さんは車椅子で、奥さんは後ろで車椅子を押しながらのご参加でした。1回目の参加だそうですが、「河川敷を歩けるので、気持ちが良い」と満足そうにおっしゃっていました。春になると桜が綺麗な場所なので、お花見の下見も兼ねての参加でした。

最後に6組目は、犬といっしょに散歩も兼ねての参加でした。今回が1回目の参加だそうですが、いつもの散歩コースと同じなので、慣れているとのことでした。

このように、なごやかウォークには幅広い年代の方々が毎年参加されています。4kmという道のりは、歩く前はすごく長く感じましたが、河川敷を歩くためとても気持ち良く、あっという間でした。参加された方々も、疲れたという表情ではなく、すがすがしい表情をされていました。健康のために参加されている方も非常に多かったです。参加パッ

チももらえるので、それを集めるのも楽しみの一つだと思います。そして幅広い年齢の方々が参加しているので、地域の方とコミュニケーションをはかる良い機会になると思います。核家族が多くなっているなかで、お年寄りとお話ができるのも良いと思います。私もまた参加したいと思っています。



2008年11月16日(日)於前山/貴船/牧の原/西山/名東小学校

## 名東区安心・安全で快適なまちづくりの日

### 通学路ウォーキング

・取材日	11月16日
・取材時間	9:00~12:00
・取材場所	松岡彩:貴船、牧の原、西山、名東小学校 守永光希、堀なつ美、牧淳美:前山小学校
・天気	雨時々曇り
・イベントの名称	名東区安心・安全で快適なまちづくりの日:通学路ウォーキング
・主催者名	名東区安心・安全で快適なまちづくり協議会
・参加者の概要	親子(小学校によって、人数など全然違う) 牧の原...約30人 西山...約250人 名東...約400人

#### 取材ノート1(守永光希:前山小学校)

11月16日(日)雨 10:00~ 前山小学校

主催:前山学区区政協力委員会・保健委員会・PTA

##### <内容>

通学路を歩き、安全を守る。去年からの試みで通学路の途中で空き缶やゴミを拾うとみたらし団子3本と引き換えることができる。学校についてからは分別についての環境講話会。講話会では名東区区役所環境事業所の丹羽さんが分別や、12月1日から変更になる新しい分別の区分についてわかりやすく説明していました。様々な種類のゴミのサンプルを分別するクイズでは、小学4.5年生たちが楽しみながら分別について学びました。

##### <主催者(加藤さん)>

Q:このイベントの趣旨は何ですか?

A:ふれあいながら町をきれいにする活動で、安心安全快適なまちづくりを目標に行っています。

Q:今日のできはhowですか。

A:雨が降っているので例年より参加者の数が少なめですが、雨の割にはたくさん来てくれました。来年はもっと参加者が増えるだろうと思います。

Q:今後の目標は何ですか。

A:前山学区は積極的にイベントを行うので、もっと色々な活動を広めたい。現在は地域の付き合いも変わってきたのでこういうイベントを通して地域が団結し、仲良くなれるといいと思います。ゴミのマナーはいくら国や市が呼びかけても地元の人動かないと改



善されません。名東区は单身の方が多く、ゴミのマナー問題がたくさんあるのでまずはゴミのマナーを徹底的に改善していきたい。

<参加者>

(区政ボランティア・50代女性)

Q:今回はなぜ参加しましたか。

A:毎年参加しています。今年はみたらしだけど去年はぜんざいを作った。

Q:感想

A:毎年空き缶を持ってきてくれる人が増えています。ぜんざいやみたらしを喜んで食べてくれるから嬉しい。

Q:このイベントが及ぼす地域への影響。

A:このイベントはゴミを拾うことが楽しみになるいい機会になっています。活動を通して子どもたちとふれあえるところも良いところです。

Q:今後の目標。

A:学区のゴミのマナーを意識して直していきたいです。

(小3・4年男子)

Q:今回はなぜ参加しましたか。

A:野球チームで毎週土曜日に前山小学校のグラウンドを使わせてもらってるので参加しました。

Q:どのように参加しましたか。

A:今日は雨で野球が中止になったので家からゴミを持ってきました。

Q:参加した感想を聞かせてください。

A:ゴミ分別クイズが楽しかったです。分別のことがよくわかりました。

<考察>

このイベントは地域の方々がゴミ問題に改めて向き合うことのできるとても良いイベントだと感じました。子どもからお年寄りまでたくさんの方が楽しくゴミのマナーについて見直していて、地域のためになるイベントでした。空き缶をみたらし団子に交換することができたり、クイズ形式で分別について学ぶなど親しみやすい工夫がされていて参加者もとても楽しそうでした。ボランティアの方々はとても温かい人ばかりで、地域を良くしようという気持ちが伝わってきました。主催の加藤さんが話してくれた、町を良くするためには住民が動かないといけないという言葉の意味がよくわかりました。

取材ノート2(松岡彩:貴船、牧の原、西山、名東小学校の巡回取材)

イベントの内容

11月の第3日曜日は名東区の「まちづくりの日」ということで、学区みんなで通学路をウォーキングしたり、各イベントに参加したりする。

主催者へのインタビュー

Q:どのような趣旨・目的で行っているのか

《貴船》:「安心・安全」を掲げ、ごみ問題や子どもの防犯に関する活動を行う。具体的には、ごみの分別や、子ども110番の家を親と確認をする。1番は親子で参加して、楽しむこと。

《牧の原》:地域の人の意見を聞くためにアンケート用紙があらかじめ配布しており、粗品と交換する。これで、学区のことや危険な場所がわかればいいと思う。学区の方が1ヶ所に集まる機会。親子での参加が大切。

《西山》:区の行事であり、恒例行事である。ウォーキングをしながらごみ拾いをする分別をする 警察の講演 もちつき大会。親子での参加が大事ということだが、子どもを中心とした行事としている。また、最近犯罪が多発しているため安全確認の意味もある。もちつき大会では2升の米を12臼ほど準備。

《名東》:「家庭の日」ということで、親子の参加を求め、防犯のことなどをしてもらい安全の意識を高める。

Q:いつからどのくらいの頻度で行っているのか

《貴船》:毎年同じようなかんじで行っている。年2回学校も協力。

Q:今日はうまくいったか(目標が達成できたか)

《西山》:盛大にできた。よかった。

《名東》:大成功!!スタッフが前向きなところもよかった。

Q:今後の目標

《貴船》:いかに状態にするか。ごみ問題と子どもの防犯については変わらない。

《牧の原》:徹底をしていないためか参加数が減ってきている。グランドゴルフや粗品などを用意して、人が集まればいいと思う。

《西山》:これから、子どもを中心にした行事をやりたい。

《名東》:学区の方が子どもの安全を守るようになるといいと思う。

Q:工夫した点

《名東》:楽しくないと人が来ないため、クイズを用意したり祭りのような感じにして、楽しい中で体験して学べるようにした。子ども会や学校での呼びかけ、回覧板をまわすなど徹底した。

参加者へのインタビュー

今日はなぜ参加したか

参加してみたの感想

今度はどんな活動に参加してみたいか

#ぜんざいを作っていたおばちゃん(貴船)

広報に参加しているから必然的に。

大変!でも、「楽しかった」と終われるようにがんばる。

カップ10とか勉強したい。

#お母さん（牧の原）

子ども会の役員だから

タバコの吸殻が多くてびっくりした。

子どもと一緒に楽しめるものがあれば参加したい。

#お父さん（牧の原）

子どもが通っているところを見るため

家から近いなと思った。

親子でできるものがあれば。

#おばさん（牧の原）

孫がいるから

結構ごみがあると思った。直したほうがいいと思う。

#お母さんと子ども（西山）

交通指導員の話があるから。      もちがあるから。

楽しかった。      おいしかった。

#豚汁を振舞っていたおばちゃん（名東）

民政委員だから

もしもの時とか、子どもと顔見知りになれるので、防犯につながると思う。

#### 取材者の考察

##### ・取材してみたの感想

学区ごとに人数もやっていることも全然違うことに驚きました。複数見て回って思ったことは、やはり、まずは参加してもらうことが大切なのでそういう点で特に名東はすごいと思いました。名東は本当にお祭りといった感じで、子どもたちが楽しめるポイントがたくさんありました。また、徹底した呼びかけもあり、大勢の親子が来ていました。それぞれの学区で、この日のために準備しているというのがよくわかりました。これからも続けていってほしいと思いました。

##### ・イベントのよかったところ

どの学区でも親子での参加を強調していたところ。

##### ・イベントの改善点

参加者数が少ないところは、多いところに習ってやるといいと思いました。